

浸水被害・避難対策をしっかりと

質問

5月の県の被害予測で、理論上最大値で浸水被害死者800人増となった理由は。

総務部長

津波の河川遡上よりも先に、堤防高が一律75%沈降し、満潮位を想定した河川水位による堤防内の水が一気に住宅地へ流れ込み浸水する、想定し難い非常に厳しい条件で予測された。建物や家具の下敷きで自力脱出困難が200人、避難途中に浸水に巻き込まれることによる死者が600人を想定。この予測は、発生頻度が

1000年に一度以下のもの。

質問

日光川など実際に堤防沈降による浸水被害はないと考えるか。

総務部長

日光川堤防は、地盤改良や矢板などの対策が進められているが、今回の予測には考慮されていない。平成21年までに緊急性の高い7kmを改修した。今後、本年中に「第3次地震対策アクションプラン」
として対策区間を設定し、来

年度より対策工事を行っていることだ。

質問

海抜ゼロメートル地域での防災意識を高めるため、「海抜表示をもっと身近なところにほしい」という声がある。

清須市では防犯灯に海抜や堤防の高さを示していることがニュースで紹介されたが、愛西市でも行っては。

総務部長

清須市の自主防災会が独自に防犯灯の支柱に地盤から30cmにマーキングし、道路冠水による垂直避難の目安として活用するなどしている。地域から相談があれば、協力を惜しまない。

有効な野良猫対策を

質問

「庭の花壇が荒らされる。糞尿をされて困る」「野良猫に餌をやる人がいるのでやめさせて」と相談があった。餌い猫の徘徊、野良猫対策は。また、餌い主や野良猫への餌やりへの注意、啓発は。

市民生活部長

関係する地区と協議し、「うちらし」の回覧や看板を設置する。餌やりをしている人が特定できれば、愛知県動物保護管理センター尾張支所と共に指導する。また、定期的に広報紙で啓発している。

質問

野良猫を減らすため、「地域猫活動」を進める考えは。^{*}

市民生活部長

まず、地域住民の意見が「野良猫を地域ぐるみで適切に管理飼育」することで、まとまること。市としてこの事業を進めていきたい。

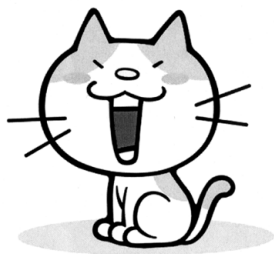
※地域猫活動

地域住民が協力して、不妊手術、餌やり・トイレの設置・管理などを行い、今いる野良猫を地域で飼養し、徐々に頭数を減らしていく活動。



真野和久 議員

ネコに迷惑しています!



- 猫を捨てないで
- 猫にエサを与えないで
- ペットのフンは飼い主の責任

愛西市

▲猫の注意看板